旧熊谷市立男沼小学校跡地等の利活用に係る
サウンディング型市場調査　結果概要

熊谷市では、統廃合により閉校となった旧男沼小学校について、民間利活用等の可能性を把握するため、学校跡地等における市場性の有無や自由な発想に基づく幅広い活用アイデア等を調査するサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果概要を公表します。

１　調査対象施設
旧熊谷市立男沼小学校

２　実施スケジュール

概要	日程
実施要領の公表	令和７年　９月２５日（木）
現地見学会の開催	令和７年１０月　９日（木）
サウンディングの実施	令和７年１１月１０日（月）　から 令和７年１１月１８日（火）　まで
サウンディング結果概要の公表	令和７年１２月下旬

３　参加者

現地見学会	サウンディング
４者	３者

４　結果の概要

参加事業者Ａ

提案者業種		教育
提案内容	校舎	アフタースクール
	体育館	子供の室内遊び場
契約方法		賃貸借
地域活性化への取組		地域住民のアフタースクール参加 地域児童の遊び場の確保
地域ニーズへの対応	① 地域交流拠点機能の確保	アフタースクール講師として地域住民の事業参加 室内遊び場にコミュニティスペースを併設
	② グラウンドの地域開放	平日はアフタースクールとしての利用 土・日・祝日は一般開放
	③ 避難所利用	校舎全体を避難所として利用可能
	④ 地域住民の雇用	アフタースクール講師 室内遊び場のスタッフ
行政支援の要否		施設整備の補助

参加事業者Ｂ

提案者業種		障害者福祉
提案内容	校舎	福祉施設、地域生活支援、短期入所、産業振興拠点
	体育館	リハビリ、軽運動施設
契約方法		売買
地域活性化への取組		地域雇用創出、地域経済波及、地域ブランド化
地域ニーズへの対応	① 地域交流拠点機能の確保	校舎内に地域コミュニティスペース整備 就労継続支援 B 型事業でのカフェ整備
	② グラウンドの地域開放	平常時の一般開放 地域行事の優先利用
	③ 避難所利用	福祉避難所として機能強化
	④ 地域住民の雇用	障害者・住民を含め 20～30 人の雇用
行政支援の要否		都市計画規制緩和 補助金支援 避難所整備支援 技術的支援

参加事業者Ｃ

提案者業種		建物総合管理
提案内容	校舎	スポーツ・文化活動施設
	体育館	
契約方法		賃貸借
地域活性化への取組		一部運営を地元企業と連携し、雇用を創出する 地域協議会による運営方針の協議
地域ニーズへの対応	① 地域交流拠点機能の確保	教室棟の一部を地域交流拠点として整備
	② グラウンドの地域開放	地域行事やスポーツ活動の場として整備
	③ 避難所利用	災害時の避難所利用可能
	④ 地域住民の雇用	地域住民の短時間勤務を可能とする仕組みの構築
行政支援の要否		広報支援 安全管理支援 防災連携